

指導部だより 第2号

【交通安全教室について】

本日の交通安全教室で、以下の内容について指導しましたので、ご確認をお願いします。

- (1) 交通ルール・マナーについて（交通事故にあわないために心掛けること）
 - ・右左折・停止時には前後左右の安全確認を必ず行う。
 - ・信号機および警察官の手信号に従う。
 - ・横断歩道や止まれの標識のあるところでは、一旦停止をして安全を確認する。
 - ・狭い道から広い道に乗り出すときには、一旦停止をして安全を確認する。
 - ・五中坂では自転車を降りて、上りは右側通行、下りは左側通行をする。
- (2) 防犯のため、鍵をかける。
- (3) 車体に不備がある場合は、早急になおす。



【自転車の並進による交通死亡事故】

越前市内にある中学校の話です。

その中学校は、並進による交通事故で生徒の尊い命を失った悲しい歴史をもつ学校です。この悲しい歴史が二度と繰り返されないように、交通安全には細心の注意を払って登下校をしなければなりません。

今から約30年前、越前市内の中学生3人が3列並進をしながら自転車を走らせていました。自転車の後方から車が追突し、車道側にいた生徒2人を30メートル先まで突き飛ばしました。ついさっきまで楽しくおしゃべりしながら並進していたはずの2人が、気づいたときには30メートル先に倒れていたのです。運転手は、車内のオーディオを操作していて、前方の生徒には気がつかなかったそうです。事故にあった2人は救急車で病院に運ばれ、集中治療室に入りました。その間、待合室では、事故にあった生徒のご家族や担任の先生、そして事故にあった3人の生徒のうち残った1人が、2人の生還を祈りながら手術が終わるのを待っていました。

悲痛な祈りも虚しく、午前1時ごろ1人目の生徒が亡くなりました。続いて午前6時ごろ2人目の生徒が亡くなりました。

この事故で我が子を失ったご両親も、クラスの生徒を失った担任の先生も、一緒に並進していて生き残った最後の生徒も、この悲しい歴史を背負いながら、今を生きています。生き残った生徒は、どのような気持ちでその後の人生を生きているのでしょうか。

命を失った生徒が生き返ることはありません。一度失われた尊い命が、二度と元にもどることはないのです。かけがえのない命を大切にしなければならないことは、人はみな知っています。でも、私たちは、自分のかけがえのない命を本当に大切にできているのでしょうか。

並進ぐらいと思わずに、交通ルールを確実に守りましょう。並進でも人は命を失うことがあるのです。交通ルールを守り、自分の命と将来を大切にできる生徒になってください。